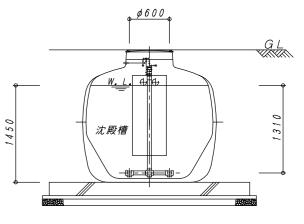


建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令										
第35条第1項の大臣認定による分離嫌気ろ床担体流動方式										
型式認定		5 - 2 3 - H - 0 0 1 - 6								
生丸碱化	令和5年8月4日									
型式適合認定	番号	型01CadOa0214746								
空孔旭日旅足	年月日									
型	ŧ	ダイエー浄化槽 FCX21CⅡ型								
処理対象	処理対象人員		211							
日平均汚		4.2 m³∕日								
流入水	BOD2	00mg/L	COD100mg	/L 55	160mg/L	T-N	45mg/L			
放流水	放流水質			COD 30mg	/L SS	20mg/L	T-N	20mg/L		
容量表										
項目	設計容量									
沈殿分離槽		2.924 m³								
嫌気ろ床槽		2.491 m³								
担体流動	1.729 m³									
沈殿槽		1.218 m³								
消毒槽	消毒槽			0.052 m³						
総容量	8. 414 m³									
放流ポン	0.074 m³									
機器仕樣表 (単相・100V)										
機器名		7 径		(力 (60Hz)	(50	吐出量 /6 0 H z	.)	台 数		
ブロワ	Ø	320	0. 132	/0.145kw	0. 1	5 m³/mi	n	1台		
放流ポンプ	放流ポンプ 3		0.	13 kw	0.00	8 m³/mi	n	2台		
放流ポンプ槽排気管について										

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先 付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。

- 注1)放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。
- 注2)排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は 側溝の最大水位より100mm以上、上部とします。
- 注3)排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。 V字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。
- 注4) 電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

※管理用水栓は10m以内に設置すること(浄化槽工事範囲外)



E-E 断 面 図 1:40

	開口位置 6	12	60	960	920	340		
<u>流</u> ø1	·入管 25	Ø600	ø 4 5 0	ø 6	00	ø 4 5 0, 1 / 2	<u>放流管</u> ? - ø 3 0	
1450 50480		沈殿分離槽	嫌気るた槽	担体流動槽	沈殿槽	放流ポンプ機	70 152 160	G L Ville
		A – A	<u>取.</u> A 断面	<u>気管</u> / ② 1.	: 4 0	<i>゚゙リフトポンプ</i>		

No.	内 容	日 付	担当者	承 認	備考:寸法は内寸法とする。	承認	検図	設計	製図
						/ 間 \	/ 間 \	/ 今 \	』/ 山 /
						∖瀬/	∖瀬/	\	下 /

DAIE 大栄産業株式会社

ダイエー浄化槽 FCX21CⅡ型	図番	FCX21CIH-1		
	縮尺	1:40		
構造図 (放流ポンプ槽付)	日付	R5. 7. 21		